

古代学学術研究センター・研究会

〈みやこ〉観の変遷

日時： 6月20日（月）16:20～18:00

会場： 奈良女子大学S棟3階 327演習室

内容： 〈みやこ〉をめぐる言説の検討

—森由紀恵報告「中世成立期の『帝都』観と福原遷都」に寄せて—

話題提供：西村さとみ（奈良女子大学文学部）

平城遷都から1300年にあたる昨年、古代学学術研究センターでは〈遷都〉を一つのキーワードに、都市・都城について考えてきました。巷間の記念行事は終了しても、研究に終りはありません。ここに昨年度の研究会の成果を確認し、新たな課題を見いだしたいと思えます。

昨年9月29日の研究会における森由紀恵氏の報告「中世成立期の『帝都』観と福原遷都」は、福原遷都を、当該期の人びとの遷都観を明らかにし、それをふまえて位置づけるべきであるとの問題提起であり、そこには多くの史料があげられていました。それらを緒に、〈みやこ〉の史的変遷を捉える視点を探ります。議論は福原遷都に閉じるものではありません。多くの方々のご参加をお待ちしています。

研究会の企画相談会を兼ねて開催しますので、参加者は奈良女子大学の教員・大学院生・学生・研究員に限らせていただきます。

森報告のレジュメをご持参ください。お持ちでない方は、西村研究室（S322）まで。

問い合わせ先：奈良女子大学 館野和己研究室（0742-20-3307）